



つとむ通信

TSUTOMU NEWS

2023年 秋号

自民党栃木県第4選挙区支部長/衆議院議員

佐藤 勉 (さとう つとむ)

昭和27年6月20日生まれ(71歳)。34歳、県議会議員初当選。44歳、県議3期目任期中に衆議院選挙に出馬し、初当選。以降、衆議院選挙9期連続当選し、現在に至る。

【略歴】自由民主党総務会長、衆議院憲法審査会長、衆議院国家基本政策委員長、衆議院議院運営委員長、衆議院国会対策委員長、総務大臣、国家公安委員会委員長等を歴任。

【趣味】ゴルフ・映画鑑賞。

今こそ原点回帰

岸田内閣が2021年10月に発足してから早や2年がたちました。

当初 内閣支持率が上昇した時もありましたが、昨年からは旧統一教会問題や政治とカネの問題、スキャンダルが相次ぎ低迷しています。今年9月に行われた内閣改造・党役員人事も派閥に配慮した順送りでの起用となり、清新さを欠き、実行力が十分な布陣とはなりません。次期総裁選に向けて支持基盤への配慮は、一定程度は理解できます。

しかし、国内外に早急に対応しなければならない難題が山積する中では、派閥を問わず能力を重視した適材適所の人事が必要です。内閣支持率が芳しくないままなのはそのためでしょう。

新春号でも触れましたが、私が麻生派を退会した際に人事で嫌がらせと受け取らざるを得ない動きがありました。政治家は自らの行動が引き起こした結果については甘んじて受け入れるべきで、特に行動に出ることはしませんでした。

しかし今回の人事では、私とともに退会した後輩議員にも報復としか考えられない動きがありました。黒子に徹して実務を担い、与野党・役所からも信任のあつい働きを示していただけに、守り切れなかったことに責任を感じるとともに、失望しています。

自民党の強み・長所は、総裁選などで激しく争っても、結果が出たらノーサイドで一つにまとまる点だと思っています。そうした伝統が失われつつあることは嘆かわしく、また、「数だけが力」という剥き出しの論理が支配しつつある状況は残念でなりません。今の私があるのは自民党のおかげであり、先輩議員の方々からは数々の教をいただきました。良き伝統・教を次の世代につなぐのが、私も含めたベテラン議員の役割と思っています。

各々が持てる能力を最大限発揮していく、そんなあるべき姿に戻すことを最後の使命として活動していきたいと思っています。



国へ 未来へ 次世代へ つなぐ。

永年勤続議員肖像画について



2021年に国会議員として在職25年を迎え、永年勤続議員表彰を賜りました。

表彰者の権利として、自身の肖像画を委員室に掲額することが出来ます。私の肖像画は数十年来のお付き合いがあり、趣味の域をこえて絵を描く後援者の方に描いていただきました。

表彰を受けることとなる何年も前から作成をはじめいただき、何度も修正を重ねながら仕上げさせていただいた作品で、とてもありがたく光栄に思っています。

肖像画の背景は私が愛する日光の風景をリクエストし、中禅寺湖を描いていただきました。

現在衆議院別館の第11委員室に掲額されています。ご興味ある方は事務所までお問合せ下さい。



さとう勉事務所

✉ ご意見・ご質問は、こちらへ → g02103@shugiin.go.jp

Web や SNS でも
情報発信しています



ホームページ



Instagram



Facebook

小山
事務所

TEL : 0285-25-7878
FAX : 0285-25-7900
〒323-0014
栃木県小山市喜沢 84

真岡
事務所

TEL : 0285-83-7788
FAX : 0285-83-7786
〒321-4305
栃木県真岡市荒町 3-45-7
コスモシティ101号室



国へ 未来へ 次世代へ つなぐ。

討議資料